4月12日(土)、12時30分より開会式を行い、13時にスタートを迎えた本大会には、参加者および応援の方々を含め、100名を超える皆さまにご来場いただきました。

なお、今年度より主催団体の名称が「利賀地域体育協会」から「利賀スポーツ協会」へと新たに改称され、地域に根ざしたスポーツ振興の新たな一歩を踏み出す節目の開催となりました。開会式では、地域づくり協議会長および上利賀振興会会長を来賓としてお迎えし、温かいご挨拶を賜りました。

また、選手宣誓は利賀学舎9年生の浅野 真旭さんと城岸 由有花さんが堂々と務め、会場を清々しい緊張感と期待感で包みました。残念ながら桜の開花には間に合いませんでしたが、当日は青空が広がる穏やかな天候に恵まれ、参加者の皆さまは自然豊かな利賀の風景の中で、思い思いの走りを楽しんでおられました。春の一日が、心に残る素晴らしい思い出となったことと存じます。

子ども広場 花植え作業

地区福祉活動事業の一環として、地域美化を目的とした花植え活動を実施いたしました。今回は、子ども広場の利用者の皆さまにもご協力いただき、10個以上のフラワーボットに、インパチエンス、サルビア、マリーゴールド、ペチュニア、ペゴニアなど、彩り豊かな花々を植えていただきました。これらのフラワーボットはアーパス体育館付近に設置しておりますので、お立ち寄りの際はぜひご覧いただき、地域の皆さまによる手作りの景観美をご堪能ください。

第33回武蔵野桜まつり

本年も、南砺市利賀村として「武蔵野さくら祭り」に参加し、友好交流都市である武蔵野市とのつながりを深める貴重な機会となりました。

出店では、岩魚の塩焼きや利賀の郷土料理である五平餅を販売し、10時の販売開始から多くの来場者にお立ち寄りいただき、13時には全品完売するほどの盛況となりました。

また、ステージではむぎや節保存会の皆さまが民謡を披露し、来場された方々に利賀の豊かな文化を感じていただくことができました。今年も、無事にさくら祭りへの参加を果たすことができ、地域の魅力を発信するとともに、武蔵野市との友好交流をあらためて実感する機会となりました。今後もこの良い関係を大切に育みながら、地域の魅力を伝える活動を続けてまいります。

- ・ふるさとマラソン大会
- ・子ども広場花植え作業
- ・第33回 武蔵野桜まつり
- ・8mmフィルム上映会開催報告
- ・武蔵野児童交流 利賀村訪問
- ・令和7年度 利賀地域づくり協議会行政推進委員会協議会 開催報告
- ・木村まさこ講演会
- ・利賀天空ロケイニング2025
- ・春祭り

8mmフィルム上映会 開催報告 (アーパスホール)

令和6年4月21日(月) 18時30分より、アーパスホールにて8mmフィルム上映会を開催しました。

今回の映像は、利賀村出身の故・野原 明氏が昭和35年頃に撮影したもので、そのご家族が映像の風景や場所について情報を求め、富山テレビ「ダイヤのイマダ」に投稿されたことがきっかけとなりました。番組スタッフによる調査の末、撮影地が利賀村であることが判明し、氏の娘様も初めて父の故郷が利賀村であったことを知ることとなりました。上映にあたっては娘様より快くご許可をいただき、当日は約50名を超える来場者が、昭和の利賀の暮らしや風景を懐かしみながら鑑賞しました。

映像には、上百瀬・上島・坂上地区の獅子舞の様子も収められており、地域の記憶を呼び起こす時間となりました。また、娘様は5月5日に上百瀬地区で行われた獅子舞にも足を運ばれ、父の故郷に触れる時間を通じて深く感動された様子でした。過去の映像を通じて、家族の記憶と地域の歴史が交差し、新たなつながりが生まれる—そんな意義深い上映会となりました。

武蔵野児童交流 利賀村訪問 実地踏査

令和6年5月13日(火)、武蔵野市と利賀村の児童交流事業に向けた実地踏査が行われました。武蔵野市からは、団長として武蔵野市立第二小学校 校長・松原 修氏および武蔵野市教育委員会指導課・木村 雅希氏が来村され、今夏に予定されている交流事業の実施に向け、地域の各所を視察されました。本年度の交流事業は、7月21日から24日までの4日間、利賀地域にて自然体験や文化交流など、さまざまな活動が予定されています。視察後の交流会では、始終和やかな雰囲気の中で意見交換が行われ、今後の児童交流に向けて前向きな意志と連携が確認されました。